

生涯学習だより

生涯学習推進課 生涯学習係
☎(83)7021

自治会活動の見直し

中丸自治会は足柄上病院の南側に位置し、191世帯311人の生まれも育ちも地元という人が多い自治会です。

自治会の主な活動は、カーレット・パークゴルフ大会や認知症有症者対応講習会を開催しています。新たな活動として、道祖神太鼓演奏者育成練習会を開催しています。災害に備える取り組みとして、富士山噴火や自然災害に対する啓発活動を実施しています。自治会員交流の促進を図るために見守り活動を兼ね、自治会行事への参加

中丸自治会長 守屋 孝幸さん



の少ない方の自宅を訪問し参加を促しています。

老若男女が集い懇談することは、地域の人々を知ることのみならず、教育する役割を担っています。少子高齢化や多様性の台頭・共働き世帯の増加により自治会活動の担い手が減少しています。

このような現状を鑑み、自治会活動のスリム化に取り組んでいます。持続可能な自治会の実現のために、今後の自治会活動の在り方についてアンケート調査を予定しています。



カーレット競技会



危険個所の確認

「行動すれば次の現実」という教えを胸に自治会員と手を携え「できる人が、できる時に、できることを」を合い言葉に支え合い安心して暮らせる笑顔のたえない自治会造りに取り組んでいきます。

松田 文化財探訪

My 二宮尊徳翁小伝 その16

文化財保護委員 草門 隆

JR松田駅の北口広場の「二宮尊徳翁誕生地栢山道約一里半」の道標について 1/2

該道標は御影石で高さ8尺(2.4m)、総高は約4m、裏には明治42年6月と刻され、建立者の名は刻まれていません。それ故に経緯などを調べると明治39年4月『斯民』(報徳博物館蔵)とミキモト広報宣伝課から幸吉の伝記より判明したことです。すが、明治42年12月に「二宮尊徳生誕地の恢復(回復)成る」と題し服部北溟が記しています。それによると、本年6月9日に御木本幸吉さんと会見し、①二宮翁の誕生地が縁者の手に渡っているから報徳の根源地として翁の高徳を後世に伝えたい②近年、遠近篤志家が翁の誕生地へ参拝する者が多くなってきたので東海道松田駅構内にぜひ永久的な道標を建てたいと希望した、とのこと。御木本は即

座にこの偉人のために私財を託しました。

「余はただ希望を話したのみであるのに5分足らずに、相模聖人・二宮尊徳翁誕生地は回復することになった」とあります。建立者名については誠実な御木本は人に知らしめんことはないとのことでありました。御木本は自分も「海金次郎」になつてみせると言っていたとありますが「自ら得た富は社会公共のためにという信念を持っていた」と伝記にあります。まさに、翁の教えの「富者の推譲」の実践です。結果として、御木本は現地・松田には来ず服部氏に約束した日が建立年なのです。



平成24年10月の新・金次郎像と移設の該道標。右下は除幕式。